unit + 01

教育の情報化　ユニット研修プラス　授業づくり編

校内の推進体制づくり

【ねらい】

ＧＩＧＡスクール構想実現に向けた校内の推進体制づくりについて理解する。

【ポイント】

□ ① 推進体制づくりに必要な３つのポイント

□ ② 県内の取組状況から見えた推進体制づくり

【活動】各学校における推進体制を見直してみましょう。

岡山県総合教育センター

Copyright 2021 © Okayama Prefectural Education Center

推進体制づくりに必要な３つのポイント　1

各学校への取材などからわかる各学校の課題意識

～１人１台端末活用について抜粋～

- ・活用について各教員の裁量に任されている
- ・情報管理担当者の負担が大きい
- ・端末利用のルールと指導の徹底が必要

など

- ・情報共有が限定的で効率化できていない
- ・学年や学校間などで連絡調整できる仕組みがない
- ・地域や保護者との効率的な情報共有に課題がある

など

- ・教職員のスキルの差が大きい
- ・教科間でＩＣＴ活用のばらつきがある
- ・ＩＣＴ活用について学ぶ研修時間の不足

など

※2021年度　GIGA取材、研修講座アンケートから

３つのポイント

視点1　リーダーシップと組織体制の整備

視点2　校務の情報化と授業外での活用

視点3　組織的なスキル向上につながる研修の充実

Copyright 2021 © Okayama Prefectural Education Center

県内の取組状況から見えた推進体制づくり①　2

視点1　**リーダーシップと組織体制の整備**

１人１台端末活用を教育目標や研究テーマに位置づけ、推進体制を構築。

■校内支援体制の整備　活用の促進

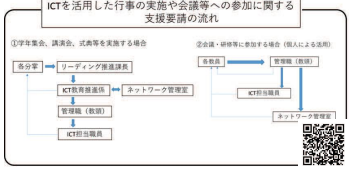
ＩＣＴ活用における支援体制の構築

・４月当初は、学校全体におけるICTの活用について戸惑う場面もあったが、推進体制を構築してからは、スムーズな活用が行えるようになっている。

・支援要請は、リーディング推進課に相談することからスタートし、ICT教育推進係、ネットワーク管理室（ハード系）とも連携し、取組を進めている。

・各種配信のパターンに応じた準備と対応を行っている。

県立岡山朝日高等学校



出典：http://www.okayama-c.ed.jp/i-katsu/2021/08/post-1846/

■校内組織の工夫　連携の促進

校内組織の工夫で、効率化と活性化を実現

・技術面から支援する『教務課情報係』、授業改善から支援する『教務課企画係』を設置し、各年次２名ずつを配当して強化したことで、学年間の情報共有がやりやすくなり、円滑に業務が進行するようになった。また、転勤などで担当者がいなくなることによるトラブル発生リスクが軽減された。

・年度当初に自由参加の形で“自主研修会”を開催した。基本的なChromebookの操作から、授業実践の紹介まで、丁寧に説明しており好評だった。また、併設する中学校の先生も多数参加することができた。

県立津山高等学校

出典：http://www.okayama-c.ed.jp/i-katsu/2021/07/post-1547/

Copyright 2021 © Okayama Prefectural Education Center

県内の取組状況から見えた推進体制づくり②　3

視点2　**校務の情報化と授業外での活用**

業務を効率化し負担を軽減することで働き方改革につなげる。
効果的な情報共有を実現する。

■情報共有と可視化　情報の共有

職員朝礼も時間短縮。連絡事項をドキュメントで共有し、いつでも見える、書き込める。

職員全員がアクセスできる共有ドライブを作成し、ドキュメントを使用して職員朝礼を行っている。ドキュメントには、連絡事項等を打ち込むことだけでなく、共有したり、資料のリンクを貼り付けたりするなどしておき、効率のよい仕組みを整えている。

井原市立芳井中学校

出典：http://www.okayama-c.ed.jp/i-katsu/2021/08/post-1784/

■情報発信とSNSの活用　情報の発信

積極的な情報発信

校内の取組や様子について積極的な情報発信を行っている。また、寄宿舎を持つ支援学校として保護者からも情報発信へのニーズが高い。学部間で分担し、学校の様子については、ホームページ、ブログ、Facebook、メールマガジン（要登録）で、毎日昼夕の給食のメニューについてはTwitterで紹介している。

Web（ブログ）　Facebook　Youtube Ch

健康の森学園支援学校

出典：http://www.okayama-c.ed.jp/i-katsu/2021/11/post-2336/

Copyright 2021 © Okayama Prefectural Education Center

県内の取組状況から見えた推進体制づくり③　4

視点3　**組織的なスキル向上につながる研修の充実**

活用スキルの差を埋める。
ＩＣＴ活用指導力の育成。

■学校のニーズに即した研修　目的に応じた研修

課題に即応する校内研修の実施

・ICTの利用に関して日々の先生方の困り感を吸い上げ、校内で研修ができるように準備をし、タイムリーな研修を全教職員に行っている。同僚が自分の工夫を講師となって広めることを基本としている。

・５月に、生徒の学びを止めないため、教職員全員を対象とした説明動画を作成する研修を実施した。１人１台端末を活用した、すぐに活用できる内容で、学校を休んでいる生徒へ授業動画を配信するなどの活用が進んでいる。

県立岡山朝日高等学校

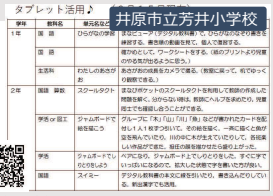
出典：http://www.okayama-c.ed.jp/i-katsu/2021/08/post-1846/

■授業改善への取組　全体共有で授業改善

校内での取組を定期的に共有することで、自身の授業等へ活かせる仕組みづくり

「使っていく」ことを厭わないために、終礼等の短い時間を活用して実践紹介し、共有する時間を設けている。時間をかけることなく、情報を全体で共有することは、授業で活用するヒントとなり、有効である。また、学期に1回程度期間を設定し、自身の授業での取組を表に打ち込み、まとめている。

井原市立芳井小学校



出典：http://www.okayama-c.ed.jp/i-katsu/2021/08/post-1907/

Copyright 2021 © Okayama Prefectural Education Center

【活動】各学校における推進体制を見直してみましょう　5

推進体制づくりの３つのポイント

視点1　リーダーシップと組織体制の整備

視点2　校務の情報化と授業外での活用

視点3　組織的なスキル向上につながる研修の充実

教育の情報化のビジョンの普及

学校が抱えている課題解決にＩＣＴを活用

主体的・対話的な深い学びの視点の授業改善

１人１台端末の日常的な活用

教職員の意見

参考

学校情報化認定

GIGAスクール構想対応チェックリスト更新版

※チェックリスト一部抜粋

出典：https://www.jaet.jp/katudou/nintei/index.html

Copyright 2021 © Okayama Prefectural Education Center

参考資料　6

■本研修で使用したデータは、「おかやまＩＣＴ活用実践事例集」に掲載

各冊子５つの学校の事例を紹介しております

参考URL：http://www.okayama-c.ed.jp/i-katsu/2021/08/post-1880/

参考URL：http://www.okayama-c.ed.jp/i-katsu/2021/11/post-2318/

参考URL：http://www.okayama-c.ed.jp/i-katsu/2021/12/post-2778/

■最新情報は、随時当センターのHPをご確認ください

岡山県総合教育センター

https://www.pref.okayama.jp/soshiki/215/

バナーを選択

Voiced by https://CoeFont.cloud

Copyright 2021 © Okayama Prefectural Education Center